



セミナー

Seminars

セミナー

セミナー資料販売

過去のセミナー

ダイレクトメールのご登録

[▲講座・セミナー一覧へ戻る](#)

【共催】公益財団法人ハイライフ研究所 設立 25 周年記念《第 31 回ハイライフセミナー》 【無料セミナー】求められる消費活性化の取り組み

お申し込みの受付は終了いたしました。多数のお申込、まことにありがとうございました。

開催日	2018年10月3日(水) 13:30～17:30
会場	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター ホール3A 東京都新宿区市谷八幡町8 JR、東京メトロ有楽町線、都営新宿線「市ヶ谷」駅徒歩2分

本セミナーのねらいと背景

ハイライフ研究所では2016年度より「近未来消費研究」に取り組んでまいりました。高齢化が進む日本において、万人に関係する「食品」分野にフォーカスし、その消費者の実態や消費行動や意識、そして食卓メニューを通して把握し、更に小売流通(主に食品スーパー)の課題は何かということの研究してまいりました。本セミナーにおいては、その研究について発表させていただき、消費活性化に向けて何らかの示唆となることを期待しております。

本セミナーの特徴

消費活性化に繋がる施策などについて、実例を国内及び米国で取材を実施し、具体的な施策について深く考察を行っております。既に始まっている挑戦的な取り組みや成功事例の本質を確認できる機会にもなると考えております。

プログラム

時間	内容・報告者
13:30～13:40	主催者挨拶 公益財団法人 ハイライフ研究所 代表理事副理事長 櫻井 隆治
13:40～14:10	研究報告①「近未来消費における問題点の整理」 今後増加する単身者、高齢者の購買行動や意識、そして食卓の実態から危惧される問題についてご説明します。 公益財団法人 ハイライフ研究所 上席研究員 杉本 浩二
14:10～14:40	研究報告②「スーパーマーケットの話題面での課題」 スーパーマーケットが消費者に買ってもらうだけでなく、消費者間で話題(ネタ)になるための課題について説明します。 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授 寺本 高
14:50～15:30	研究報告③「小売・外食企業ヒアリングから得られる話題づくりのヒント」 <ul style="list-style-type: none"> 話題性のある小売業、外食企業に対して実施したヒアリング調査結果を報告します。 先進的に話題づくりやストアイメージ構築に取り組む企業の共通点とは？ 公益財団法人 流通経済研究所 研究員 中村 竜人
15:30～16:10	研究報告④「事例で見る売れ筋商品のローカル化(ローカルNE)のポイント」 ナショナルブランド(NB)商品を地元の消費者向けにローカライゼーションする場合のポイントや注意点について、ビールとスナック菓子の事例を徹底分析して報告します。 公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員 折笠 俊輔
16:20～17:20	研究報告⑤「米国の先進スーパーから見る話題力強化のポイント」 米国の先進スーパーにおける取組内容から、日本のスーパーの話題力を強化するためのポイントについて説明します。 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授 寺本 高
17:20～17:30	閉会挨拶 公益財団法人 ハイライフ研究所 執行理事専務理事 藤原 豊

※プログラムや報告者は、都合により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください

お問い合わせ

公益財団法人 流通経済研究所
 担当:折笠(おりかさ)、大高坂(おおたかさか)
 住所:〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山陽ビル10階
 電話:03-5218-4534 FAX:03-5276-5457

[▲講座・セミナー一覧へ戻る](#)